

## 見沼中学校区における学校再編成に関する説明会 会議録（須加・保護者）

- 1 開催日時 令和2年11月15日（日）午前11時～12時5分
- 2 開催場所 須加公民館ホール
- 3 出席者 17名
- 4 教育委員会 鈴木教育長  
 学校教育部 吉田部長、荻原参事、諸貫次長  
 学校教育課 須永主幹  
 教育総務課 上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

### 5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 意識調査の結果及び今後の方向性について
出席者	4 質疑 いつの間にか複式学級の解消だけにすり替えられている。元々の始まりは市全体の再編成を進める上での第一歩だったはずだが、それ自体を諦めたのか。
鈴木教育長	行田市全体の再編成計画は現在も継続して進めていきたいと思っている。北部については義務教育学校の設立は厳しく、断念した。ただ、複式学級の課題を抱えながら、北河原小や須加小と保護者がずっと頑張ってきている部分を重く受け止めて、複式学級の解消だけは進めたいと思っている。
出席者	元々の計画では、義務教育学校に集約していく話だった。ここだけでなく、市内の義務教育学校は作らないという結論か。
鈴木教育長	行田市は、今後の国や県の方向性の中で小中一貫教育を5～6年前から進めている。小中一貫教育を全市的に進める形として施設分離型と施設隣接型の小中一貫教育をする小中学校、施設一体型の義務教育学校の3種類がある。義務教育学校は小中一貫教育の基本方針の1つなので、小中一貫教育の中から義務教育学校をなくすことはしない。今後、他の地域で条件が整って実現ができるのであれば、義務教育学校ができる可能性は残している。

出席者	<p>今後は、施設分離型の小中一貫教育をしていくという事か。</p>
鈴木教育長	<p>中学校の生徒数の激減もあるので、今後、中学校が存続できるかどうかも課題として残る。存続できるなら、小中一貫教育が出来ると思うが、まず皆さんと小学校をどうするかという所から始めて、中学校をどうするかも並行して考えないといけない。現在、こうなりますと断言できない所もある。</p>
出席者	<p>方向性はそうだろうと思う。アンケートの結果を見ると一地域以外は賛成・反対が拮抗しているので、今後、北河原と須加に関しては前向きな意見が上回ると思う。荒木を除いて須加小と北河原小と見沼中で小中一貫校という可能性はどうか。</p>
鈴木教育長	<p>北河原小と須加小と見沼中の義務教育学校となると、一クラスの人数が少なくなってしまう。場合によっては複式学級になることを考えると、荒木小を除いて義務教育学校にするのは教育環境的にも、先を考えると厳しい状況がある。今回、荒木小の8割が反対している事は、大きく受け止めざるを得ない。3小学校1中学校で1クラス30人の規模が継続するような形での計画を進めていたので、それが実現できないとなると教育環境としては厳しいので断念した。</p>
出席者	<p>3校でスタートしたのは話がまとまるだろうという目論みがあったと思う。須加、北河原、南河原ならうまくいったという可能性も考えられるが、それで考え直すというのはどうか。</p>
鈴木教育長	<p>北河原、荒木、須加の3校で統合するというのはいつの選択肢でしかない。色々な地区で話を聞きながら、場合によっては他の学校との統合という話が出てくると思う。地区ごとにどう考えているかを聞いた上で、様々な選択肢を皆様にご提供しながら、考えていきたい。</p>
出席者	<p>今の市長はやる気があるのか。</p>
鈴木教育長	<p>市長も複式学級の解消は第一条件でやってくれと強く言っている。</p>
出席者	<p>とりあえず、複式学級の解消だけを目指すという事か。</p>
鈴木教育長	<p>教育条件を十分に整えた上で解消していく。</p>

出席者	<p>1クラス30人くらいが良いという話だったが、なぜ30人なのか。5人、10人ではいけないのか。</p>
鈴木教育長	<p>10人で環境を整えての教育は可能ではあるが、国では40人、行田は35人でやってきた。それが望めないのであればせめて30人いれば様々な活動ができる。義務教育学校として中学校の部活動に反映できるのではないかと思ひ、ある程度の人数を考えていた。必ず30人でなければいけない訳ではないが、教育活動の充実を考えた時にある程度の人数は必要であると考えている。</p>
出席者	<p>須加小は、2年と3年、4年と5年が複式学級になっている。人数的には1学年2～3人で、複式で5～6人だと思ふ。教員が足りてないから複式学級になっている部分もあると思ふが、2人のクラスに1人の担任ではいけないのか。調べたのだが、何人以下で複式学級にしなければいけないという決まりは見当たらなかった。それを決めているのは市だと調べたら書いてあった。2人の児童に1人の担任でも複式学級は解消できると思ふ。私は30人1クラスが良いとは思っていない。逆に少なすぎるのもいけないのかもしれないが、テレビでやっている様に、島で1人しかいない学校の児童の方が、自主性が生まれている気がする。30人いるとどうしても人の影に隠れている、目立たない、コソコソしているような自主性のない学生が生まれると思ふが、どう考えるか。</p>
鈴木教育長	<p>須加小では手厚く、きめ細やかな教育をやっている。全面的に駄目と言っている訳ではない。ただ、外に出ていった時に子供達の力が発揮でき、社会性を付けていくために、切磋琢磨する活動ができる場を提供したいと考える。指摘のとおり、きめ細やかにその子にあった教育をする事も方法の一つだと思ふ。この場ではそういった意見も聞きたい。</p>
出席者	<p>須加小、北河原小は少ないし、荒木小も1クラスがやっとの状態だと思ふが、3校別々にしておいて、色々な行事を持ち回りで一緒に行えば、交流も生まれると思ふ。そういった考えで、先生の数を増やして、複式学級の解消をしてほしい。あと1年少ししかない中で小学校の統合は無理だと思ふ。そうすると先生を増やすしかないなので、生徒数が少なくても1学年1人の先生をお願いしたい。この説明会を行うにあたり、意見を聞きたいという話だったが、教育委員会として今後の進め方は持っていないのか。義務教育学校を断念した次の方向性は持っていないか。</p>

鈴木教育長	案として提案する事もあるが、意識調査のように保護者の総意を重視しながら決めてきた所もある。特に北河原と須加地区にとっては切実な問題であり、地域ごとに賛成・反対の内容も違うので、まずは話を聞き、希望、要望や意見を聞いた上で、様々な選択肢を提供していきたい。
出席者	この再編成が白紙になった事で、教育長が辞任する事はないか。
鈴木教育長	途中で投げってしまうのは責任放棄になると思うので、ある程度の方向性と北河原小、須加小の複式学級解消に向けたきちんとした形を整えた上ではないと判断できないと考えている。責任を持って進めていきたい。
出席者	教育長に任期はあるのか。
鈴木教育長	令和3年6月まで。
出席者	そうすると、令和4年4月には退任しているのでないか。
鈴木教育長	令和4年に実施するためには、令和3年4月には方向性が決まっていないと準備が間に合わない。3月くらいまでにはきちんとした形で進めたい。
出席者	期待して待つ。
出席者	小学校の統合は期待するとして、見沼中の方も人数が少なくなっていて、1～2年が限度なのかなと思っている。特に部活動は数が少なく、生徒の選択肢がない。強制とは言わないが全員参加が原則となっているので、やりたい部活がない中で、子供もどうしたら良いのだろうという部分もある。見沼中の方も早急にしてもらいたい。部活の再編の方が手取り早いので視野に入れてほしい。もし、仮に須加、荒木、北河原が統合したとしても数年後にはじり貧になり、10年持たない気がする。令和4年に統合して、また数年後に再編となると労力が無駄になると思うので、3校だけでなく、南河原、太田や北小を含めて考えてもらいたい。早急の方が良いと思うが、令和4年にこだわって、また数年後に再編するより、1～2年遅らせる事も可能性としてはあると思う。
鈴木教育長	中学校は5年後に4割減が見込まれているので、非常に厳しい状況にある。南河原中も同じ状態なので、通学区域の審議会にかけて早急に、

出席者	<p>同時進行で進めていく。1～2年遅らせる事については意見として頂戴する。</p> <p>令和4年に急ぐ必要はないと感じている。もう少し案を練った上で、保護者の意見を聞きながら、じっくり進めていくべきと思っている。子供は複式学級で生活していたが、中学校に上がった時に最初は親として心配な面はあった。いざ入ってしまえば、何ともなく生活できているので、複式学級解消だけでなく子供達の意見も貴重だと思う。義務教育学校が白紙になるという手紙を子供からもらった時に、「じゃあ須加小を卒業できるのかな。荒木に行かなくてもいいのかな。あと1～2年で卒業する子供達は小学校で卒業できるのかな。」という子供の声を聞いた。そうすると親としては「そうだよな」という風になる。担任の先生も2学年をもつのは大変だと聞いている。この地域はこの先人口が増える見込みがないと思っているので、もう少し時間をかけて、令和4年にこだわらなくても良いと思っている。</p>
出席者	<p>低学年は男の子も女の子も関係なく仲良くやっているが、5～6年になって、宿泊学習や修学旅行の時に同性がいないと本人もつらいと思う。令和4年に義務教育学校になると聞いていたので少し安心していた面もあった。義務教育学校が良いというのはないが、人数が増える事は賛成だったので、須加、荒木、北河原にこだわらなくても、南河原など他の学校を含めて早めに統合できる環境をつくってほしい。</p>
出席者	<p>1学年1担任というのは予算の関係も出てくると思うが、確保できるものなのか。適正配置もあると思う。行田市の教員は県から配置が決まると聞いているので、市ではどうにもならない事なのかなと思う。県に話をできるものなのか。それが、できないとなると無理な話になってしまう。できれば複式でなくて1学年1担任が理想だと思う。</p>
鈴木教育長	<p>教員の配置基準は40人学級に対して1人となっている。県費負担教職員という名前での県からの配置なので、複式学級は複数の学年に1人の配置が基準となっている。県とやり取りしても実現は厳しい。主要教科については、県費の教員と勤務時間は同じではないが、市費で派遣をしている。定数1の正規職員とは違うので、学校運営上は学校に苦勞をかけている。</p>
荻原参事	<p>1年生を含む学年で複式学級を組む場合は8人以下、2年生以上で組む場合は16人以下という決まりがある。須加小は複式学級が2つあ</p>

	<p>り、1年と6年は単独なので、県から4人の職員が来ている。学年によって進度が全く違うので、授業によってはフォローする形で市費の会計年度任用職員がついて指導を別に行っている。</p>
出席者	<p>今の話だが、あくまで指針で、決まっている事ではないのではないかと。人数については県や市で最終的に決めて良いとなっていると思うが。</p>
荻原参事	<p>数については決まっているので、県からはその人数しか来ない。もし2学年16人以下を2クラスとする場合は、市の方で先生を雇って学級編成をする形になっている。クラスは組んでも大丈夫だが、県から先生は来ない。</p>
出席者	<p>今後、色々な再編成方法を検討して進むと思うが、その時にアンケートをやって反対が出れば白紙撤回になってしまうのか。</p>
鈴木教育長	<p>そうならないような結論を導きたい。</p>
出席者	<p>では、今回はなぜ白紙にしたのか。</p>
鈴木教育長	<p>保護者の意見を重視した。</p>
出席者	<p>今回の反省の上でやっていかないと同じになってしまう。</p>
鈴木教育長	<p>白紙にならないようにする。</p>
出席者	<p>今回はなぜ白紙にしたのか。</p>
鈴木教育長	<p>荒木地区の賛成が得られなかった事が大きい。</p>
出席者	<p>それを説得するのが仕事だと思うが、なぜしなかったのか。</p>
鈴木教育長	<p>説明を繰り返して説得をしてきたが、そこまで至らなかったのは力不足だった。</p>
出席者	<p>また今度も力不足で白紙になるということか。</p>
鈴木教育長	<p>それは避けたいと思う。</p>

出席者	では、どうすれば今回できたと思うか。方法は何もなかったか。
鈴木教育長	説明が足らなかった所が大きかったと思う。
出席者	今から説明すればいいではないか。荒木を説得するつもりはないか。
鈴木教育長	今の段階だと次に進みたいと思っているので、説得は考えていない。
出席者	では、元々の計画がまずかったということか。
鈴木教育長	元々の計画をおかしいとは考えていない。
出席者	自信があるのであれば説得すべき。これだけ皆が労力使っていたのを、アンケート一つで撤回したのが元々納得できない。自信があった再編計画であれば、もっと説明して回っても良いのではないか。須加小がなくなるのはつらいけど良い学校にするために協力しようと思っていた。今回できなかった理由がわからないのに次やっても意味がない。
出席者	先ほどの意見はもっともだと思う。説明はしてきたと思うが、こちらからの質問の回答が「配慮します」や「検討します」で、具体的な対策が示されなかった。「配慮します」は当たり前で、どういう対策をしてくれるのかを保護者は求めていたが、ほとんど示されなかった。「検討します」も、それが出来ていなければ計画が成功する訳ないので、その根拠や事例を含めた細かな説明と質問に対する明確な答えがまったくなかった。この先のビジョンについても、理想は大事だと思うが、理想に対する道順も事細かに数字などの根拠が必要だと思うが、説明会では示されていなかった。そこが反対の増えた一番の要因だと思う。それがないと保護者は安心して預けられないと思う。令和4年に向けて、小学校の編成が進むと思うが、その場で答えらなくても、説明会の回数を増やして、答えを用意して示してもらおうとかまでしてもらわないと、ここまでの大きな話に賛成は得られないと思う。反対が多かったから取り下げるとなると、逆の成功事例として他の地区も「反対すれば撤回してくれる」となってしまう、この先の統合が成り立たなくなると思う。反対の人をどう説得して、賛成でないにしても理解してもらおう方向に進んでいかないと、この先の統合や再編成に不安しかない。今回の検証はしてもらいたい。
出席者	学校統合の話はかなり前から出ていた話だと思う。統合するなら早く

	<p>してほしいという保護者の意見がある。何年も前から話が出ていて、いつなのかとずっと話題に上っていた。ここ2～3年になって急に話が上がってきて、唐突な感じがした。子供を持つ身としては、途中で変わってしまうのは不安がある。もっと早くから話があったのであれば、もっと早く地元住民や保護者に伝えられた事が少しずつでもあったのではないかなと思う。複式学級は悪いとは思っていない。しっかりとした先生が考えて、教育していると思う。今、コロナがあって、ニュースでも20人に学級にした方が良いのではないかという意見も出ていたので、今までどおりの感じではなくなると思う。リモート授業も入ってくる可能性もあると思う。それについて行田市としてどう考えているか。市全体で人数が減っているのだから、やらなければいけない事だと思う。やると決まってる事だと思うが、やるのであれば、どういう形ならやれるのかという方向をまとめて、やるという道筋のもと進めていってもらわないと、「反対が多いのでやめます」とか「検討します」という迷いは困る。やると決めて進めてきた事だと思うが、ここにきて「反対が多いのでやめます」では、「この先どうするのか」「いつ統合するのか」となるのは目に見えている。市として教育委員会として、人数が見込めず存続できないので、やると決めたのであれば、「それに向かって進んでいくので協力していただけないか」という風に進んでもらわないと、迷わされても困る。その指針をきちんと示してもらわないと、混乱させられるだけでは、子供も親も不安になる。10年近く前から出ていた事だと思うので、代も変わって、職員も変わって大変だと思うが、その主軸をきちんとしてもらわないと困る。行田市のためにやってもらっているのはわかるのでお願いします。</p>
鈴木教育長	<p>しっかり示せるように最大限努力していく。</p>
出席者	<p>今回、白紙になった最後の所は、荒木の方が3校合併が良いのではないかと始まったアンケートや要望だった。声の大きい人が勝ったという印象しか残らない。今後の方針は話を聞くという事だが、違う方法を皆で出し合って決めたとなった時に、3校合併を推進した人達がもう一度同じ事をやるのではないかという事も想定しておかなければならない。3校合併を強く推進している人がいる事を、ちょっとうるさいのが来たという程度に受け止めるだけはいけない。3校合併をきちんと受け止めた上で、違う方法もあると思う。各校の個別合併はうまくいかないという北河原と南河原の教訓を基にした計画だと思う。どこかの地区に吸収という感覚で進めると、今回や前回のようなギリギリになって無くなってしまうと思う。今回の計画は、3校とも閉校して、「地区になくな</p>



ってしまうけど、新しい学校で仕方ない」という地元の意見を引き出せば良いというのが影に見えていた。3校合併がどのように来たのかわからないが、荒木の人が荒木の小学校を残したいというのがスタートにあるのであれば、結局どの形であれ、また地元感情を組まなければならなくなる。そうすると、保護者や子供の意見が置き去りになってしまう。聞いている話だと、北河原と南河原の時も保護者はそれで良いが、地元が嫌だった。今回も、説明を聞いておらず知らないまま進められたという保護者もいたようだが、反対メンバーは保護者ではない。そうすると、保護者説明会で何を話そうが、最後は違う所から横やりが入って終わってしまう。どうやっても100%賛成となる意見は作れない。その時に「多数決にするのか」と「教育委員会として教育行政を考えて、こうあるべきだ」という事を主軸に、それに対してどういう意見があるかを聞く」のでは、進むスピードも違うと思う。教育委員会としては北部地域をこうしたいと強く言うべきなのかもしれない。そのタイミングになっていると思う。太田地区の人に話を聞いたら、強く反対すればなくなるという声が出るのが怖いと言っていた。まさにその前例を作ってしまった。これをひっくり返すのはなかなか大仕事だと思う。そう考えると主軸をどこに持ってくるのかを真剣にやらないと、後々また方針が変わって白紙になるという結末になってしまう気がする。やはり中学校をなんとかしないといけない事を理解してもらわないといけない。1学年1クラスだと、教科担任が足りないという事をしっかり説明をした方が良いと思う。1、2年生が一緒にやっている訳でないのだから、先生が足りないという事実は、言わないとわからないと思う。1学年3クラスならそれなりの数の先生の割り当てが来るが、1学年1クラスだと足りない中に主要科目も含まれるかもしれない。そういった事もきちんと伝えて、見沼中は今の時点で先生の数足りない。小中の免許を持った先生が相互に協力して、中学校の教科担任に補助ができる事もしっかり考えたので義務教育学校を計画したという事を説明会でほとんど言っていなかった。そういう目的があったという事は言わないとわからないと思う。先ほどの16人以下というのを私は知っていたが、それが指針なのかまでは知らない。市費で先生を雇わないという方針を市は決めているのか、それとも数を減らすだけで雇っているのかについても知らない。先ほどの説明なら、市で先生を雇ってくれれば1学年ずついけるのではないかと理解する人もいる。理解をしてほしいというような説明でない、一方的な感じでは理解が進まない。それを聞いた上でどうするかと話が進展していかない。前も話があったが、説明、覚悟、理解が全部足りなかったという事を重く受け止めて次に進めてもらいたい。

司会	5 閉会
----	------